

## 平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 CIJ

コード番号 4826 URL <http://www.cij.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 信一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 坂元 昭彦

TEL 045-324-0111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	3,978	△21.9	△169	—	△60	—	△91	—
21年6月期第1四半期	5,096	—	178	—	155	—	15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	△4.54	—
21年6月期第1四半期	0.73	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第1四半期	12,311	8,206	63.1	386.11
21年6月期	12,832	8,491	62.8	400.21

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 7,769百万円 21年6月期 8,053百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	—	—	9.00	9.00
22年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	9,100	△10.1	190	△46.8	230	△29.8	60	—	2.98
連結累計期間	19,510	0.8	950	135.4	1,010	125.4	420	—	20.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社 除外 2社(社名 株式会社ソフィアスタッフ 株式会社システムウェーブ)

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第1四半期	22,555,080株	21年6月期	22,555,080株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年6月期第1四半期	2,431,684株	21年6月期	2,431,724株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年6月期第1四半期	20,123,356株	21年6月期第1四半期	20,623,911株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想数値につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の一巡や経済対策の効果に加え、アジアを中心とした対外経済環境の改善により、輸出と生産の面では持ち直しの動きがみられた一方、企業収益と設備投資はなお減少傾向にあり、雇用情勢は一層悪化するなど、厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましては、前連結会計年度と同様に、開発案件の減少・延期・規模縮小等が顕著な状況にあります。また、依然として技術の高度化、システムの複雑化、短納期化に伴う品質確保のためのコストは収益を圧迫し、更には、プロジェクトマネージャーを始めとした高度情報処理技術者の人材不足は重要な問題であり、事業環境は厳しさを増しております。

このような厳しい環境のなか、当社グループは平成22年6月期から平成24年6月期の3カ年に渡る新中期経営計画の当面の取組みとして、案件確保を最優先課題とする認識のうえで、経営幹部による営業活動、グループ連携による提案型営業等の営業活動の強化、営業パワーの向上を推進しております。また、グループ経営資源を効率的に活用し、グループとしてのシナジー効果を向上させるためのグループ組織再編（子会社間合併）を実施いたしました。

しかしながら、業績の推移に関しましては、依然として顧客企業は設備投資に慎重であり、電機業種関連、組込ソフトウェア、半導体関連サービス事業等の開発案件及び人材派遣業務案件の予想以上の減少、予定していた案件の延期及び規模縮小、パッケージソフトウェアの販売不振等のため、売上は減収となりました。営業利益、経常利益、及び当期純利益につきましては、売上不振に起因するものに加え、開発案件減少に伴う不稼動人員増加、子会社の赤字等のために減益となりました。特に地方の経済状況は悪化しており、地方展開しております連結子会社は厳しい状況にあります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は39億78百万円（前年同期比21.9%減）、営業損失は1億69百万円（前年同期は営業利益1億78百万円）、経常損失は60百万円（前年同期は経常利益1億55百万円）、四半期純損失は91百万円（前年同期は四半期純利益15百万円）となりました。

事業セグメント別では、「システム開発及びシステム開発に関連するサービス（システム開発等）」の売上高は38億5百万円、営業損失は1億51百万円となりました。また、「介護サービス事業」の売上高は1億20百万円、営業利益は5百万円、「半導体関連サービス事業」の売上高は51百万円、営業損失は23百万円となりました。

「システム開発及びシステム開発に関連するサービス（システム開発等）」の売上品目別、「介護サービス事業」及び「半導体関連サービス事業」の業績概況は、以下のとおりであります。

<システム開発及びシステム開発に関連するサービス（システム開発等）>

①システム開発

当社グループの主力事業であります本売上品目に関しましては、電機業種関連、組込ソフトウェア等の開発案件の受注が振るわず、予定していた案件の延期及び規模縮小等もあり、減収減益となりました。

この結果、本売上品目の売上高は27億79百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

②コンサルテーション及び調査研究

本売上品目に関しましては、前連結会計年度末に認証サーバの検証コンサルティング案件等が終了し、その後の受注が不振であった影響により、減収減益となりました。

この結果、本売上品目の売上高は91百万円（前年同期比52.1%減）となりました。

③システム／パッケージ・インテグレーション・サービス

本売上品目に関しましては、社会福祉業務関連のパッケージソフトウェア等の受注が低調であったため、減収減益となりました。

この結果、本売上品目の売上高は2億57百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

④インターネット・サービス

本売上品目に関しましては、前連結会計年度末にホームページ作成案件等が終了し、その後

の受注が不振であった影響により、減収減益となりました。

この結果、本売上品目の売上高は0百万円（前年同期比97.8%減）となりました。

⑤その他

本売上品目に関しましては、人材派遣業務案件の受注が減少した一方、保守業務やライブラリ管理等の受注は堅調で売上は増加いたしました。利益率が低い案件が多いために減益となりました。

この結果、本売上品目の売上高は6億77百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

<介護サービス事業>

本事業を行っているのは連結子会社である株式会社C I J ウェーブであります。当第1四半期連結累計期間においては、平成21年9月より高知県四万十市の有料老人ホーム「愛夢しまんと」にて、新たにデイサービスを開始いたしました。

この結果、本事業の売上高は1億20百万円（前年同期比59.3%増）となりました。

<半導体関連サービス事業>

本事業を行っているのは連結子会社である株式会社日本構研システムズであります。本事業においては、半導体製造メーカー及びLSIチップを搭載した機器を提供している企業を主な顧客としております。本事業を取巻く環境は、半導体価格の下落や半導体製造メーカーの設備投資抑制、及び製造業界の長引く景気低迷の影響を受け、先行き不透明な状況が続いております。

この結果、本事業の売上高は51百万円（前年同期比61.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億9百万円減少し、84億96百万円となりました。主な要因は、仕掛品が2億42百万円増加したものの、現金及び預金が5億34百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億10百万円減少し、38億15百万円となりました。主な要因は、のれんが48百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5億20百万円減少し、123億11百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億17百万円減少し、29億40百万円となりました。主な要因は、短期借入金が7億52百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億82百万円増加し、11億64百万円となりました。主な要因は、長期借入金が4億17百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円減少し、41億5百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億85百万円減少し、82億6百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当の支払い等により利益剰余金が2億81百万円減少したことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間以降においても、民間企業の情報化投資については厳しい状況が続くものと思われま。また、政権交代による予算執行停止の影響も危惧されます。

当社グループは、案件確保・売上確保のために営業活動の更なる強化を推進してまいります。また、経営効率・事業効率を高めるためのグループ連携の強化、採算性回復のための不採算事業の見直し、不採算案件撲滅のためのプロジェクト管理の見直しと強化等を推進する所存であります。

現時点において、平成21年8月10日に公表した業績予想は変更いたしません。今後の事業環境の変化を注意深く見極めていく必要があるものと認識しております。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（吸収合併消滅による減少 2社）株式会社ソフィアスタッフ 株式会社システムウェーブ

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便的な会計処理）

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（会計処理基準に関する事項の変更）

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は11百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ1百万円減少しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,172,427	5,707,080
受取手形及び売掛金	2,221,103	2,388,026
有価証券	30,024	30,048
商品及び製品	7,007	6,297
仕掛品	545,674	303,572
その他	525,212	502,319
貸倒引当金	△5,406	△31,624
流動資産合計	8,496,041	8,905,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,381,038	1,392,205
土地	544,887	544,529
その他(純額)	93,075	92,502
有形固定資産合計	2,019,002	2,029,236
無形固定資産		
のれん	399,343	447,445
その他	97,755	106,113
無形固定資産合計	497,098	553,559
投資その他の資産		
その他	1,312,529	1,369,843
貸倒引当金	△12,699	△26,281
投資その他の資産合計	1,299,830	1,343,561
固定資産合計	3,815,931	3,926,357
資産合計	12,311,972	12,832,076
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	340,899	335,187
短期借入金	851,075	1,603,762
未払法人税等	57,629	66,211
賞与引当金	837,300	482,525
その他	854,020	1,070,515
流動負債合計	2,940,924	3,558,201
固定負債		
長期借入金	874,693	457,516
長期未払金	119,508	123,669
退職給付引当金	155,346	184,955
その他	15,364	16,162
固定負債合計	1,164,912	782,302
負債合計	4,105,837	4,340,504

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,270,228	2,270,228
資本剰余金	2,494,026	2,494,033
利益剰余金	4,127,202	4,408,814
自己株式	△1,050,429	△1,050,449
株主資本合計	7,841,027	8,122,627
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△61,049	△55,921
為替換算調整勘定	△10,075	△13,196
評価・換算差額等合計	△71,124	△69,118
少数株主持分	436,232	438,062
純資産合計	8,206,135	8,491,572
負債純資産合計	12,311,972	12,832,076

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,096,175	3,978,246
売上原価	4,113,732	3,444,984
売上総利益	982,443	533,261
販売費及び一般管理費		
役員報酬	111,127	105,046
給料及び手当	209,193	186,098
賞与引当金繰入額	45,644	50,044
福利厚生費	43,476	40,563
賃借料	67,719	60,015
減価償却費	15,032	12,162
支払手数料	28,452	34,878
募集費	20,158	5,291
のれん償却額	75,213	60,372
その他	187,957	148,602
販売費及び一般管理費合計	803,976	703,074
営業利益又は営業損失(△)	178,467	△169,812
営業外収益		
受取利息	5,251	2,295
受取配当金	2,012	418
持分法による投資利益	—	1,695
受取家賃	4,062	—
助成金収入	—	111,231
その他	6,637	5,355
営業外収益合計	17,964	120,997
営業外費用		
支払利息	6,799	6,903
複合金融商品評価損	29,995	1,440
持分法による投資損失	2,310	—
その他	2,292	3,497
営業外費用合計	41,397	11,841
経常利益又は経常損失(△)	155,033	△60,657



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
<b>特別利益</b>		
投資収益	13,674	19,848
会員権売却益	—	3,825
貸倒引当金戻入額	—	30,382
補助金収入	11,244	—
特別利益合計	24,919	54,056
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	4,887	3,708
事業構造改善費用	—	11,509
子会社清算損	—	2,038
その他	27	—
特別損失合計	4,914	17,256
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	175,037	△23,856
法人税等	159,868	63,626
少数株主利益	79	3,887
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,089	△91,371

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)  
該当事項はありません。